西田恭子さん直伝

「リフォーム」で快適わが家

VOL.10 エコ・リフォーム

住みなれたわが家を、もっと快適で暮らしやすい空間にするリフォーム。そのリフォーム時、エコロジーを意識すると、環境に優しい家ができあがります。ポイントは、設備の充実と通風、採光、断熱。これらを取り入れ、家の機能性を高めた住まいは、省エネだけでなく、快適性も経済性も数段アップ。家族にもお財布にも優しく、地球環境も大切にするエコロジーなわが家って、とっても素敵です。

設備の充実は、省エネと快適性の一挙両得

わが家を大切に長く住み続けたい。その願いを叶えるリフォームは、それ自体がまさにエコ。地球環境の悪化が切実な問題を巻き起こしている今、エコを意識したリフォームは、今後ますます求められるでしょう。

では、リフォームの際、どんなことを意識すればエコ住宅ができあがるのでしょうか。

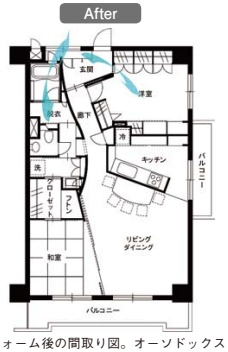
第一は、設備機器関係です。現在、エコロジーをうたうさまざまな製品が開発されています。そのなかでも実際にどの製品が省エネに適しているのか、しっかり情報収集すること。また、太陽光発電への関心が高い人も多いはず。現在、国の補助金制度の設立準備が進められていますので、タイミングよく取り入れていくとよいでしょう。

いずれにせよ、設備機器関係は初期費用がかかります。でも、省エネ製品であるぶん、光熱費が抑えられ、ランニングコストは軽減。しかも新型の機器は使い勝手のよいものが豊富ですから、省エネしつつ暮らしの快適性は数段アップするはずです。

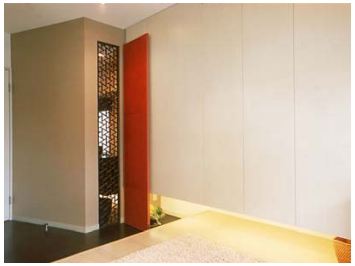
通風・採光・断熱の性能を高める

リフォームは通風・採光・断熱の性能を高めるチャンスです。通風は窓の位置や大きさを変えることで実現できます。また、電気の消し忘れの多い洗面所は、天井に格子ガラスをつけて2階から自然光を取り入れるなどの工夫をすると、明るく心地よい空間ができあがります。さらに床や壁、天井などに断熱材を入れ、窓からの放熱予防にペアガラスやインナーサッシを取り入れるなど、住居の断熱性能を上げておくと、省エネの効果はより高まるでしょう。

建材には再生クロスや木材、漆喰などの自然素材を選べば、よりエコな住宅になるはずです。でも、最終的に必要なのは住み手の意識。せっかくエコ住宅にしたのなら、それを有効に使いきりたいですね。



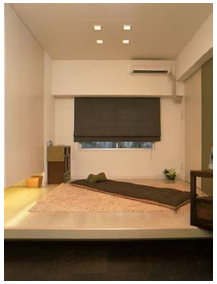
リフォーム後の間取り図。オーソドックスな田の字型のマンションの一室を個性的な間取りに改築した。特徴は北側の窓を生かし、北から南へ風の通り道をつくったこと。採光にも工夫を施している。



寝室の壁にある通風・採光用の窓
玄関わきの窓から玄関に差し込む自然光と風を、寝室にまで取り込めるよう設けられた窓。気温によって扉を開閉できるつくりになっている。

風とおしのよい浴室
玄関わきにもうけられた浴室。以前、ここは洋室だった。その洋室の窓を生かし、浴室にも窓を設置。この北側の窓から入った風は、脱衣所やクローゼットの扉を抜け、祖母の寝室まで届くつくりになっている。

玄関側から見た通風用の窓
玄関と寝室の間の壁にある通風・採光用の窓。寝室の明かりが玄関に広やかな雰囲気をもたらしている。



落ち着いた雰囲気の夫婦の寝室
玄関わきにある夫婦の寝室。通風と採光に工夫が凝らされ、居心地のよい空間が築かれている。

「三井のリフォーム住生活研究所」所長
西田恭子(にしだ・きょうこ)さん
住宅リフォーム設計を手がけ25年。その経験からリフォームの情報収集・分析をし発信している。一級建築士

三井のリフォーム
住生活研究所 Life Style Labo

西田さんが所長を務める「三井のリフォーム　住生活研究所」は、2007年10月にオープンしたリフォーム業界初のシンクタンクです。研究所のスタッフ全員が女性のリフォームプランナーで、累計10万にものぼるリフォーム実績をもとに、「リフォームカレッジ」でさまざまな情報発信を行なっています。またリフォームに関わる書籍も「「減築」リフォームでゆうゆう快適生活」など多数発行している。

東京都港区赤坂9-7-1　ミッドタウン・タワー7階「リモデ東京」内
TEL:0120-312-122
営業時間：10:00～17:00（水曜・日曜・祝日定休、年末年始休業）
www.lifestyle-labo.com

次回のテーマ
“ホームシアターのある暮らし”
お楽しみに!

0901-060-061_リフォーム.indd 60-61 08.10.27 4:25:59 PM